

「ICU に薬剤師が専従することに対する薬学的支援の変化に関する検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2018 年 9 月 6 日から 2018 年 9 月 30 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

集中的な治療を要する重症患者さんは、経時的な状態変化を起こし、それに伴った薬物治療の変更が頻繁に行われます。患者さんにとって最適な薬物治療が施行されるには、患者さんの状態を熟知した上で薬剤が開始・中止され、正しく薬剤を処方し、適切な薬剤投与を行うことが望まれます。

このような状況の下、平成 28 年度の診療報酬改定では、一定の条件を満たした集中治療室で薬剤師が薬剤に関連する業務を行うことに対して保険点数が加算されるようになりました。薬剤師が集中治療室病棟に深く関わることで、これまで以上に安全で適切な薬物治療が実施されるようになるものと期待される一方、その効果に関する報告はまだ少ないのが現状です。

そこで今回、ICU（集中治療室）と CCU（冠疾患集中治療室）を 1 名の薬剤師が兼任していた時の業務内容と ICU に 1 名の薬剤師が専従となった時の業務内容を比較検討し、当院 ICU に薬剤師を専従させることで薬学的支援がどのような変化をもたらしたかを調査したいと考えています。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2015 年 11 月から 2016 年 1 月、2016 年 11 月から 2017 年 1 月の間に、ICU に入室した患者さんを対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、年齢、性別、薬学的支援を行った件数、介入の方法、対象薬剤、ICU の入室日数などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、この研究の研究責任者・福島 将友の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 薬剤部 担当者 福島 将友
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）